



さやま市民大学同窓会会報



～かけはし～



革新的新体制で始動！

同窓会会長 中嶋 亨



平成13年、同窓会が誕生しました。その主な目的は、仲間との出会いによって新たな生きがいを見出すこと、これからの人生を大いに謳歌することです。健康の増進を図りつつ、社会生活で得た知識や経験を活かし、地域社会の重要な担い手として、同窓会はこれまでさまざまな活動をしてきました。会員の皆様方のご協力とご支援、友情の絆、更に地域社会を愛でる気持ちの強さが、今日の同窓会の発展に繋がっています。ここで厚く御礼申し上げます。

令和の時代に入り2年目の今年は、昨年総会で承認された会則変更により革新的な組織編成を行いました。各クラブから推薦された10人、地域から推薦された6人、役員会推薦10人の理事によって、新たな事業活動が展開されます。この新体制により、クラブと同窓会の連携を一層強め、地域社会との絆が一層深まる活動を実践していく所存です。皆様にはさらなるご支援ご協力を賜りたく、また温かく見守っていただきたくお願い申し上げます。

さて今年度は新理事による活動が期待されていましたが、新型コロナウイルスの感染が猛威を振るう状況下、残念ながら年度当初の活動は中止との決断をさせていただきました。ただし、感染の終息宣言後は従来通り事業活動を展開する所存です。会員の皆様、この難局を共に乗り越えて行きましょう。

人生の下山 どうしますか？

住みよい「まち」へのお手伝い

今や人生100年時代。人生の最終節をどう過ごすのか、どの様な価値観を持って生きて行くのか……。 「End・of・Life (エンド・オブ・ライフ)」を考える時代を迎えました。老いの覚悟と備えを学習する道場でもある同窓会は、老い方を学び、習得出来る『下山教育』を目指します。老いてからの時間はとても長いのに、高齢者には老いを学ぶ仕組みがありません。生きる目標や役割を失ったような感覚さえ覚えます。体力低下といった課題を乗り越え、充実した日々を過ごすために必要な『下山教育』が必要になって来ます。そこで、同窓会では既存の生涯学習とは一線を画した『人生下山教室』を目指し、『まちづくり委員会』を発足しました。さやま市民大学同窓会が行う『まちづくり』とは、『高齢者のいきがいつくり』であり、今まで学んできた知識を地域社会と自分の為に活かすことを目的とした『まちづくり』です。部会は「① 福祉分野」「② 教育環境分野」「③ 狭山市の産業（商業・工業）分野」の3つです。会員の皆様、いろいろな役割が待っています。「できることをやる」の気持ちで、気軽にお好きな分野のお手伝いをしてみませんか。皆さんの一寸したお手伝いで、誰もが住みよい『まち』ができます。多数の方の参加をお待ちしております。

※ 次ページに3分野の詳しい説明があります。右は動き始めた福祉分野「いどばた塾」ポスター



高齢者が安心して住める狭山

福祉分野
荒井茂夫さん

福祉分野では「いどばた塾」の開催を企画しています。この名称は「井戸端会議」から連想したのですが、『学び合う』という意味を込めて「塾」とつけました。『教えられたり・教えたり』をキーワードに、参加者同士が主体的に活動することを通して、やりがいや喜びを得られることを目指します。仲間同士、少し詳しい人が自分の知っていることや出来ることを披露し、気軽に学び合う集まりにしたいと思っています。堅苦しく、難しいことを勉強しようというのではありません。求めているのは憩いの場なのです。ただ楽しいだけでなく、知らなかったことを覚え、出来なかったことをやってみることで、見聞を広めたり、新たな楽しみを見つけたり、親しい仲間を増やしたりすることができればと思っています。「体を元気に」「頭を元気に」「気持ちを元気に」が目標です。活動部会で練習していることや習得したことなどを、是非披露してください。皆さんで、「いどばた塾」を同窓会ならではの特色ある楽しい憩いの場に育てていただきたいと思います。

外国人児童への日本語教育支援

教育環境分野
諸井寿夫さん

新型コロナウイルス感染拡大で、今年3月から臨時休校を余儀なくされた学校現場。子供たちの教育を取り戻すのは大変です。これに輪をかけて、今期よりスタートの新学習指導要領、特に小学校の英語教育の強化、プログラミング教育、アクティブラーニング授業などへの改革には、多くの時間がかかります。学校支援（SSVC）の活動も学校からの要請を待つだけでなく、少しずつ提案型に変化させなければなりません。学校運営に参加するコミュニティ・スクールの制度と融合した展開が必要です。その為には、まず教育現場の実態を知り、真の課題を把握することです。その一つが狭山市在住外国人の増加です（H31/4/1 現在2,641人）。今、この家族と一緒に来日したばかりの子供たちが、日本の学校に入る前に日本語や学校生活の知識を集中的に学ぶための仕組みが期待されています。施策実施に向け問題点の把握・情報収集をして、地域の人々が協力して解決するための仕組み、提案を企画検討しています。

市内商工業の発展を応援

産業分野
黒川昭さん

「まちづくり」という言葉からは、緑を増やし、公園を整備する等を思い浮かべる方も多いと思います。それも大切なまちづくりです。しかし「まち」は人が住んでこそそのまちです。人が住むためにはそこに仕事があることが必要です。被災地に膨大な費用で住宅地を整備しても、働き口が無く、人が戻らない現実もあります。狭山市には高いテクノロジーを持つ中小企業がたくさんありますが、残念ながら、それを知らない市民も少なくないようです。狭山市のハイテクをもっと国内外に知らしめることで、『ハイテクのまち狭山市』として認識され、優良企業や優秀な技術者が集まり、人口も増え、狭山市全体が活性化していくはず。そのためには、まず中小企業をさらに元気にすることです。市・商工会議所・Saya-bizと連携して、中小企業の経営者や工場長の“学び合いサークル”を作ります。気楽に集まって成功事例を学び、技術を高め合い、情報交換をして横の繋がりをさらに強固なものに。そして数年後には、『狭山ハイテク博覧会』（狭山テクノ博）を大々的に開催、内外の注目を集め当初の目標へ向けて進んでいきます。



(株)アダムジャパン

アダムジャパンは狭山市にあり、ビリヤードのキュー製作では世界的トップメーカー。また無発塵・超静音・長寿命の歯のない歯車マグトロンも狭山の企業の製品です。（写真は「本物づくりのまち狭山」より）



(株)エフ・イー・シー

令和2年度「総会・会員交流会」中止！

来年の「同窓会創立20周年記念式典」へ ご期待を!!

「令和2年度さやま市民大学同窓会総会・交流会実行委員会」が本格的な活動を開始した昨年末、タイミングを合わせるように、新型コロナウイルス感染拡大が報道され始めました。しかし、その頃はまだ、6月の「総会・交流会」にまで影響が出るとは思いませんでした。例年以上に多くの方が参加しやすいように日曜日の開催を決め、市民交流センターの厳しい予約競争にも勝ち抜き、6月14日（日）のコミュニティホールでの開催が決定したのでした。今年度は「明快と賑やかな連帯」をコンセプトとして、総会は簡潔で正確に、交流会はとにかく楽しいパーティをと考えておりました。司会者も決まり、太鼓演技、マンドリンコンサート、大合唱などの出し物の出演交渉も終わったところでした。しかし、全国的に緊急事態宣言が出される事態となり、4月の三役会議にて、心ならずも中止を決定しました。参加者の安全を第一に考えたからです。実行委員全員、無念の思いを噛み締め、来年度の「同窓会創立20周年記念式典」に向け企画をさらに進化させ、より盛大で楽しい大会にすることを誓い合いました。



昨年度総会。今年は葉書での総会参加になります



昨年度交流会。来年はさらに盛大に華やかに！

以上のような事情により、今年度の総会は、「書面決裁」とさせていただきます。会員の皆様に裁決いただくべき報告・提案につきましては、同封の『総会資料』の内容をご確認の上、『表決返送はがき』に表決を記載し、ご返送ください。

来年度は、「総会」と「20周年記念式典」は別々に、それぞれ独立した形で行うことを検討しております。改めてご案内いたしますので、皆様、ぜひご期待ください。

「同窓会創立20周年記念誌」制作中

狭山市には、他県に誇る、20年余りの歴史を持つ市民の学び舎「狭山市民大学」があります。またその修了生が組織する「狭山市民大学同窓会」の活動ぶりにも目覚ましいものがあります。しかし、活動を紹介する会報はあるものの、同窓会設立の経緯を含めた同窓会を紹介する総合的な冊子はありません。そこで、2021年に創立20周年を迎えるのを機に総合的な記念誌を発行することになりました。平成29年には記念誌編集委員会を発足し、記念誌の概要を決定しました。平成31年には記念誌の編集作業に当たる編集部会が発足、目下令和3年6月発行を目指して作業中です。

【 記念誌（3部構成）の概要 】

- 1部：狭山シニア・コミュニティ・カレッジ（SSCC）から狭山元気大学、更に両校統合によるさやま市民大学に至る発足の経緯。皆さんが学ばれた年度別開講講座の変遷等です。
- 2部：同窓会の発足の経緯、皆さんが活躍する活動支援部会や各クラブ等の多様な活動内容紹介。これから、皆さんのクラブ等の取材に伺います。ご協力をよろしく！
- 3部：同窓会に期待する
 - 1）平成28年実施のアンケートによる同窓会員の実態や、同窓会活動の現状等を改めて紹介します。
 - 2）座談会：SSCC第1期生、同窓会設立にかかわった大先輩等におおいに語っていただきました。



※「新型コロナウイルス禍」に悩ませられながら編集作業中です。是非ご期待ください。

SSCC 太極拳クラブ

当クラブは、従来の狭山シニア・コミュニティ・カレッジ（SSCC）いきがい学科3期生有志が、学科の授業で体験した太極拳をさらに学びたいとして平成15年に発足したクラブです。太極拳にはいろいろな流派がありますが、日本で最も早い時期から一般普及した楊名時太極拳（1943年に来日した楊名時が中国で制定された簡化24式太極拳に独自の工夫を加えて完成したもの）を行っています。この太極拳は「心・息・動」の調和を目指すゆったりした動きを信条としたもので、健康太極拳とも言われています。初心者も経験者もともに稽古しながら、ゆっくりと演舞する楽しさを味わうことができます。会員数は23名（4月現在）でほぼ男女同数です。毎週金曜日19:00~20:30、中央公民館で活動しています。会員の平均年齢は70才で、講師の指導のもと和気あいあいと稽古に励んでいます。しかし、会員の高齢化やいきがい講座の太極拳の授業が無くなった等で、会員数が減少しており、新会員の入会を待ち望んでいます。



うた声さりね

歌の上手い下手は関係なく、とにかく楽しく、声を出すサークルです。毎月第1、第3火曜日13:30~15:30、広瀬公民館で練習しています。依頼があれば狭山市内各地の文化祭・イベント等に出演させてもらっています。また、さまざまな老人施設・病院等を訪問して交流しています。ついでに将来自分がお世話になるだろう場所の品定めもしております。発声で顔の筋肉を使っているせいか、皆さん実年齢よりも見た目がとても若々しいです。レパートリーは童謡から歌謡曲まで数百曲……？季節に合わせた曲を歌っています。リーダーのピアノに合わせて思い切り声を出しています。ただ、現在ピアノを弾ける人が一人しかいないので、ピアノでなくても何か楽器ができるメンバーが加わってくれることを願っています。また、男性メンバーが2人だけなので、もう少し増えてくれたら嬉しいです。声を出すことは健康増進には最適です。なにより食欲が出て、夕飯がおいしいです。



会員募集中！

活動部会

2020年5月1日現在

支援とクラブ名	連絡先
学校支援 (SSVC)	SSVC 事務所 (プラザ内) 04-2927-1395
狭山パソコン支援の会	鈴木 悦子 04-2959-8757
福祉支援 チョボラの会	大内 輝夫 090-4416-3619
SSCCウォーキングクラブ	木全 英雄 04-2955-0640
手打ちそば・うどんを楽しむ会	元井 一男 04-2958-4146
SC 写真クラブ	戸田 尚一郎 04-2959-3412
歴史クラブ	和光 進 090-5815-6135
SSCC グリーンクラブ	小林 常男 04-2956-4600
SC パソコンクラブ	秋元 浪江 04-2952-0024

支援とクラブ名	連絡先
SSCC太極拳クラブ	吉田 廣 04-2956-2876
人間科学研究会	中山 啓子 04-2957-7714
うた声さりね(コーラス)	高須 晴子 04-2958-5176
いきがい学科の会	覆平 芳恵 090-4169-7274
囲碁クラブ	山下 邦夫 04-2958-0906
吹き矢クラブ	丸山 保司 04-2958-0098
さやま卓球クラブ	小林 誠一 04-2959-6830
狭山まちづくりリストの会	八島 藤夫 04-2954-3442
A ステージの会	岸田 英俊 080-1053-0705

さやま市民大学同窓会会報「かけはし」2020年度号

発行日：2020年6月20日

発行：さやま市民大学同窓会広報委員会

〒350-1304 狭山市狭山台1-21 さやま市民大学事務局内

問合せ先電話：090-6037-3489

E-Mail ssdd_sayama@yahoo.co.jp

H・P <http://sayama-shimin.jimdo.com/>

